

岩手県高等学校文化連盟放送専門部

平成 21 年度 第 2 回理事会

平成 21 年 9 月 2 日(水) 15:00 ~ 16:00

盛岡第一高等学校会議室

次第

開会

専門部長挨拶

自己紹介

議長選出

報告	1	平成 21 年度前半の事業報告・大会結果	3
協議	1	NHK 杯県大会決算報告	4
	2	新人大会更正予算	5
	3	セミナーサポート事業 放送講習会開催要項	6
	4	セミナーサポート事業 メディアコミュニケーションセミナー 開催要項	7
	5	新人大会開催要項	9
	6	セミナーサポート事業 アナウンス朗読講習会開催要項	16
	7	校内放送指導者講座等への顧問教員の派遣	16
	8	その他	16
連絡	1	部員数調査のまとめ(別紙)	17
	2	審査基準見直しの検証	17
	3	平成 21 年度後半の事業日程	18
	4	高文連表彰について	18
	5	平成 22 年度以降の事業日程(予定)	19
	6	平成 22 年度以降の上位大会	20
	7	役員選出に関する細則 別表の検討	20
	8	その他	20

閉会

資料	平成 21 年度大会結果	(省略)
	岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約	(省略)
	平成 22 年度以降の全国総文祭放送部門要項案	(省略)
	部員数調査のまとめ	(省略)
	審査集計検討資料	(省略)

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/2009/bod20090902.pdf>

平成 21 年度役員

専門部長	岩手県立黒沢尻北高等学校長	上原耕太郎	
副専門部長	岩手県立盛岡第一高等学校長	千葉研二	(事務局校)
副専門部長	盛岡市立高等学校長	鈴木俊	(次期事務局校)
専門部代表理事	岩手県立盛岡第一高等学校	杉本聖房	事務局長
専門部理事	岩手県立盛岡第一高等学校	鈴木雄平	事務局
専門部理事	岩手県立盛岡第一高等学校	濱谷伸広	事務局
専門部理事	岩手県立盛岡第一高等学校	谷藤さなえ	事務局
専門部理事	岩手県立盛岡第二高等学校	千葉隆	平成 32 ~ 33 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡第三高等学校	渡邊憲二	平成 34 ~ 35 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡第四高等学校	菅野千賀子	平成 26 ~ 27 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡北高等学校	石原聰	平成 24 ~ 25 年度事務局校
専門部理事	岩手県立盛岡南高等学校	岩本秀司	平成 36 ~ 37 年度事務局校
専門部理事	岩手県立不来方高等学校	金森嘉人	平成 38 ~ 39 年度事務局校
専門部理事	岩手県立杜陵高等学校単位制	佐藤英靖	
専門部理事	岩手県立杜陵高等学校単位制	三上隆弘	
専門部理事	岩手県立盛岡工業高等学校	畑中元毅	
専門部理事	岩手県立盛岡工業高等学校	川守徹也	
専門部理事	岩手県立盛岡商業高等学校	鈴木一彦	監事・平成 40 ~ 41 年度事務局校
専門部理事	岩手県立雫石高等学校	石田和秀	
専門部理事	盛岡市立高等学校	鈴木勇二	監事・盛岡支部理事・次期事務局校
専門部理事	盛岡市立高等学校	小林晃	
専門部理事	岩手高等学校	松田満	平成 28 ~ 29 年度事務局校
専門部理事	盛岡白百合学園高等学校	照井逸子	平成 30 ~ 31 年度事務局校
専門部理事	盛岡白百合学園高等学校	菅原浩	
専門部理事	岩手県立花巻北高等学校	高橋篤志	全国総文祭映像部門担当
専門部理事	岩手県立花巻北高等学校	黄川田千秋	花巻支部理事
専門部理事	岩手県立花巻南高等学校	前川啓太郎	
専門部理事	岩手県立黒沢尻北高等学校	芳賀範文	北上支部理事
専門部理事	岩手県立黒沢尻北高等学校	三田聡	
専門部理事	専修大学北上高等学校	昆洋子	
専門部理事	専修大学北上高等学校	高橋等	
専門部理事	専修大学北上高等学校	千田省一	
専門部理事	岩手県立岩谷堂高等学校	菊地達哉	NHK 杯運営委員・全国高文連理事
専門部理事	岩手県立岩谷堂高等学校	久慈千鶴子	奥州支部理事
専門部理事	岩手県立岩谷堂高等学校	武藤秀郷	
専門部理事	岩手県立千厩高等学校	藤本武士	一関支部理事
専門部理事	岩手県立大槌高等学校	高橋啓	釜石支部理事
専門部理事	岩手県立宮古高等学校	鈴木浄美	宮古支部理事
専門部理事	岩手県立宮古高等学校	阿部雄至	
専門部理事	岩手県立岩泉高等学校田野畑校	遠藤直樹	
専門部理事	岩手県立岩泉高等学校田野畑校	大内寿文	
専門部理事	岩手県立久慈高等学校	菊地紀子	久慈支部理事
専門部理事	岩手県立福岡高等学校	千田純	二戸支部理事
専門部理事	岩手県立福岡高等学校	鈴木耕二郎	
		(空席)	気仙支部理事

報告 1 平成 21 年度前半の事業報告・大会結果

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	13	月	県高文連第1回理事会	サンセール盛岡	県高文連
4	15	水	理事総会・第1回理事会	盛岡第一高校	放送専門部
5	20	水	第61回岩手県高等学校総合体育大会開会式 司会 (盛岡第二・盛岡白百合)	運動公園	協力事業 県高体連
5	22	金	県高文連事務局長会議他	サンセール盛岡	県高文連
6	5	金	第32回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第56回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会 (20校・261名・140エントリー)	県民会館	放送専門部・NHK
6	29 30	月 火	第9回東北高等学校アナウンス朗読コンテスト (5校・19名・12エントリー)	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7	14	火	アナウンス朗読講習会 (5校・18名・12エントリー)	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	21 24	火 金	第56回NHK杯全国高校放送コンテスト (8校・71名・24エントリー)	オリンピックセンター NHKホール(東京)	全放連・NHK
7	24	金	Nコン番組制作セミナー (2校・22名)	NHKふれあいホール(東京)	全放連・NHK
7	30 31	木 金	第33回全国高等学校総合文化祭(三重大会)映像部門 (4校・16名・4エントリー)	アストプラザ(津)	全国高文連
7	31	金	全国高文連放送部会	松阪市産業振興センター(三重)	全国高文連
8	1 2	土 日	第33回全国高等学校総合文化祭(三重大会)放送部門 (5校・22名・9エントリー)	松阪市民文化会館(三重)他	全国高文連
8	8	土	交通安全テレビCM制作講習会 (9校・60名)	テレビ岩手	後援事業 岩手県・TVI
8	9	日	短歌甲子園司会講習会 (3校・19名)	盛岡劇場	協力事業 盛岡市
8	21 23	金 日	第4回全国高校生短歌大会 司会 (盛岡第一・盛岡第四・盛岡市立)	姫神ホール 盛岡劇場	協力事業 盛岡市
9	2	水	第2回理事会	盛岡第一高校	放送専門部

おもな上位大会結果...20～25 ページ「平成 21 年度大会結果」参照。県勢の全国大会入賞は次の 9 つ。

(1) 第 56 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト

決勝進出は 5 年連続，入賞 9 は 2007 年と並ぶ史上最高

アナウンス部門

盛岡第三(3)古舘真美 入選(11～60 位相当)

黒沢尻北(3)小山さくら 入選(11～60 位相当)

盛岡第一(3)坂尾美帆 入選(11～60 位相当)

朗読部門

盛岡第一(2)小笠原舞子 優良賞(5～10 位相当)

盛岡第二(3)浅田李子 入選(11～60 位相当)

盛岡第一(3)黒川絵里加 入選(11～60 位相当)

宮古 (2)伊藤美保子 入選(11～60 位相当)

テレビドキュメント部門

盛岡第一 応援團 制作奨励(21～40 位相当)

創作ラジオドラマ部門

宮古 約束 入選(6～10 位相当)

(2) 第 33 回全国高等学校総合文化祭放送部門・映像部門

入賞なし

協議 1 NHK 杯県大会決算報告

第32回県高総文祭放送部門兼第56回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会決算報告

1 収入の部

(単位: 円)

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
一般会計より		260,000	160,095	-99,905	一般会計支C-01
内訳	参加料	130,000	140,000	10,000	一般会計収C-01
	県高総文祭部門費	80,000	20,095	-59,905	一般会計収D-01
	専門部補助	50,000	0	-50,000	一般会計収D-04
合計		260,000	160,095	-99,905	

2 支出の部

項目		予算額	決算額	予算残高	備考
A 報償費					
A-01	審査員謝金	20,000	0	20,000	NHK以外の専門職審査員の場合1名
A-02	表彰費	45,000	42,760	2,240	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計		65,000	42,760	22,240	
B	旅費	70,000	38,654	31,346	
C 需用費					
C-01	食糧費	50,000	43,564	6,436	審査員・係昼食
C-02	資料費	40,000	26,957	13,043	事務用品
需用費小計		90,000	70,521	19,479	
D	役務費	20,000	8,160	11,840	郵券・手数料
E	予備費	15,000	0	15,000	
総計		260,000	160,095	99,905	

3 残高

$$\text{収入済額} - \text{支出済額} = 160,095 - 160,095 = 0$$

- ・支出決算額は、前年度決算額と比べて53,759円減少した。支出C-02資料費(-32,972)などによる。
- ・ゼロ決算とするため、収入の部の県高総文祭部門費と専門部補助の額を調整した。

協議 2 新人大会更正予算

第32回県高総文祭放送部門兼第27回岩手県高等学校放送新人大会更正予算

1 収入の部

(単位: 円)

項目	当初予算額	更正予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考	
一般会計より	260,000	260,000	210,000	210,331	50,000	一般会計支C-03	
内訳	参加料	150,000	150,000	140,000	159,000	10,000	一般会計収C-02
	県高総文祭部門費		59,905	0	0	59,905	一般会計収D-01
	専門部補助	110,000	50,095	70,000	51,331	-19,905	一般会計収D-04
合計	260,000	260,000	210,000	210,331	50,000		

2 支出の部

項目	当初予算額	更正予算額	前年度予算額	前年度決算額	増減	備考
A 報償費						
A-01 審査員謝金	80,000	80,000	80,000	80,000	0	20,000*4
A-02 表彰費	55,000	55,000	45,000	53,760	10,000	楯(最優秀賞・優秀賞)
報償費小計	135,000	135,000	125,000	133,760	10,000	
B 旅費	70,000	70,000	30,000	32,675	40,000	
C 需用費						
C-01 食糧費	40,000	40,000	40,000	35,000	0	審査員・係昼食
C-02 資料費	5,000	5,000	5,000	5,111	0	事務用品
需用費小計	45,000	45,000	45,000	40,111	0	
D 役務費	5,000	5,000	5,000	3,785	0	郵券・上位大会手続き・手数料
E 予備費	5,000	5,000	5,000	0	0	
総計	260,000	260,000	210,000	210,331	50,000	

- ・県高文連補助金のうち、NHK杯で県高総文祭部門費に残金(59,905)が出たため、その分を新人大会の収入の部に充てる。

協議 3

セミナーサポート事業

放送講習会 開催要項

1. 目的

校内放送活動の育成，振興，ならびに健全な発展に寄与するため，番組制作の基礎的技術の向上と，日常の校内放送活動の充実を図る。

2. 主催

岩手県教育委員会・岩手県高等学校文化連盟

3. 主管

岩手県高等学校文化連盟放送専門部

4. 日時

平成 21 年 9 月 27 日(日)

9:30 受付(盛岡一高白壁ホール)

10:00-12:00 開講式・講座 1 番組制作について

12:00-13:00 昼食

13:00-15:00 講座 2 放送部の活動について

15:00-15:30 閉講式

5. 会場

盛岡第一高等学校 白壁ホール

〒020-8515 盛岡市上田 3-2-1 電話 019-623-4491

6. 内容・講師

講座 1 番組制作について

講師：放送専門部

内容：今年の NHK 杯・全国総文祭，過去の東北大会等の番組を使って，番組制作の手法・コツについて考えます

講座 2 放送部の活動について

講師：長崎県 活水高等学校放送部

顧問 岩永克子先生・部長 麻生志保さん

内容：毎日おこなっているニュース放送の実際をとおして，校内放送活動の充実について考えます

7. 参加料

無料

9. 参加手続き

放送専門部のウェブサイトから参加申込書(xls 形式)をダウンロードし，必要事項を入力して，9 月 11 日(金)17:00 までにメール添付で事務局に送付してください。

・放送専門部ウェブサイト

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

・送付先: sugimoto-kiyofusa@mo1-h.iwate-ed.jp

8. その他

(1)筆記用具・昼食等は持参してください。引率の先生方の昼食は準備いたしませんので，あらかじめご了承ください。

(2)この行事についての詳細は，参加申込み受理後，参加各校にメールでお知らせします。テキスト等は当日配布します。

(3)この行事のために集められた個人情報(所属学校名，氏名，学年，性別)については，行事の実施に必要な範囲にのみ使用するものとします。

(4)講習会の録音・録画は可です。ただし，機材はバッテリーで動くものに限りです。会場のコンセントは使用できません。

放送専門部事務局

〒020-8515(住所記載不要)岩手県盛岡市上田 3-2-1

岩手県立盛岡第一高等学校 杉本聖房

sugimoto-kiyofusa@mo1-h.iwate-ed.jp

電話 019-623-4491 fax. 019-654-4227

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

協議 4

セミナーサポート事業 メディアコミュニケーションセミナー 開催要項

1. 目的

校内放送活動の育成，振興，ならびに健全な発展に寄与するため，新人大会に向け，アナウンス，朗読，番組制作等の基礎的技術の向上を図る。

2. 主催

岩手県教育委員会・岩手県高等学校文化連盟

3. 共催

株式会社テレビ岩手・株式会社 IBC 岩手放送

4. 主管

岩手県高等学校文化連盟放送専門部

5. 日時

平成 21 年 10 月 8 日(木)

9:10 受付(県民会館中ホール)

9:30-10:15 開講式・講座 1(全体会)

10:30-12:00 講座 2～5(分科会)

12:00-13:00 昼食

13:00-14:50 講座 2～5 の後半，顧問打合せ

15:00-15:30 閉講式

6. 会場

岩手県民会館 〒020-0023 盛岡市内丸 13-1

電話 019-624-1171

株式会社テレビ岩手 〒020-0023 盛岡市内丸 2-10

電話 019-624-1166

7. 内容・講師

講座 1 全国大会エキシビション/放送専門部

以下の分科会は，いずれか 1 つに参加できます。

講座 2 アナウンス分科会/テレビ岩手

講座 3 朗読分科会/IBC 岩手放送

講座 4 ラジオ番組分科会/IBC 岩手放送

講座 5 テレビ番組分科会/テレビ岩手

8. 参加料・参加手続き

無料。別途高文連放送専門部個人登録料(1 名 500 円)を負担していただきます。参加手続き・当日持参するものについては，別表のとおりとします。

9. その他

(1)この行事についての詳細は，参加申込み受理後，参加各校にメールでお知らせします。テキスト等は当日配布します。

(2)この行事のために集められた個人情報(所属学校名，氏名，学年，性別)については，行事の実施に必要な範囲にのみ使用するものとします。

(3)講習会の録音・録画は可です。ただし，機材はバッテリーで動くものに限りません。会場のコンセントは使用できません。

(4)引率の先生方の昼食は準備いたしませんので，あらかじめご了承下さい。

別表 手続一覧

	内容・方法	締切
参加手続き	<p>参加申込書</p> <p>放送専門部のウェブサイトから参加申込書(xls 形式)をダウンロードし, 必要事項を入力して, メール添付で事務局に送付してください。</p> <p>・放送専門部ウェブサイト http://www2.iwate-ed.jp/housou/</p> <p>・送付先: sugimoto-kiyofusa@mo1-h.iwate-ed.jp</p>	9月24日(木) 17:00 必着
	<p>負担金</p> <p>(1) 参加料: メディアコミュニケーションセミナーの参加料は無料です。</p> <p>(2) 高文連放送専門部個人登録料として, 参加生徒1名につき, 500円を負担していただきます。次の口座に学校名で振込んでください。</p> <p>岩手(いわて)銀行 上田(うえだ)支店 普通 2023372</p> <p>岩手県高等学校文化連盟放送専門部</p> <p>専門部長 上原耕太郎(かんばらこうたろう)</p> <p>振込手数料は各校負担, 負担金の領収書は銀行発行のものとなります。</p>	
当日持参するもの	<p>アナウンス分科会・朗読分科会</p> <p>新人大会の規定による原稿(アナウンスは1分30秒以内, 朗読は2分以内, 様式自由)...2部</p> <p>ラジオ分科会・テレビ分科会</p> <p>各校制作の番組(ラジオはMD, テレビはDVまたはVHSテープでハイビジョン不可)...1本以上。持参できない場合は参加申込書にその旨記載してください。</p> <p>全部門共通</p> <p>筆記用具, 昼食</p> <p>新人大会(11/13)の開催要項と制作・審査規定については, 放送専門部のウェブサイトを参考にしてください。</p> <p>http://www2.iwate-ed.jp/housou/</p>	

放送専門部事務局

〒020-8515(住所記載不要)岩手県盛岡市上田 3-2-1

岩手県立盛岡第一高等学校 杉本聖房

sugimoto-kiyofusa@mo1-h.iwate-ed.jp

電話 019-623-4491 fax. 019-654-4227

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

協議 5

第 32 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼

第 27 回岩手県高等学校放送新人大会 開催要項

(9/11 の東北理事会によって変更箇所が生じる場合があります)

1. 目的

豊かな創造性と未来への展望を持つ人間としての高校生に対して 校内放送をとおし番組の制作技術の向上、表現力、創造性の開発および、豊かなコミュニケーションと文化活動の振興を図る。大会は、岩手県高等学校総合文化祭の一環 ならびに第 13 回東北高等学校放送コンテストおよび第 34 回全国高等学校総合文化祭放送部門の予選として実施する。

2. 主催

岩手県教育委員会・岩手県高等学校文化連盟

3. 共催

株式会社テレビ岩手・株式会社 IBC 岩手放送

4. 主管

岩手県高等学校総合文化祭実行委員会・岩手県高等学校文化連盟放送専門部

5. 後援

岩手県高等学校長協会・岩手県高等学校教育研究会・盛岡市教育委員会・報道各社

6. 日時

平成 21 年 11 月 13 日(金) 9:00~17:00

日程の詳細については、エントリー確定後、実施要項により、参加校に連絡する。

6. 会場

岩手県民会館 〒020-0023 岩手県盛岡市内丸 13-1
電話 019-624-1171

7. 開催部門とエントリー数

- (1)アナウンス部門 各校 6 名以内
- (2)朗読部門 各校 6 名以内
- (3)オーディオピクチャー部門 各校 2 本以内
- (4)ビデオメッセージ部門 各校 2 本以内
- (5)ラジオキャンペーン部門 各校 2 本以内
- (6)テレビキャンペーン部門 各校 2 本以内

8. 審査員

専門職審査員および教育職審査員による。

9. 表彰と上位大会推薦

(1)アナウンス部門・朗読部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...

全国総文祭・東北大会推薦

優秀賞 2 賞状・副賞(楯)...

全国総文祭・東北大会推薦

優良賞 3 賞状...東北大会推薦

奨励賞 6 賞状...東北大会推薦

(2)オーディオピクチャー部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...全国総文祭推薦

優秀賞 2 賞状・副賞(楯)

(3)ビデオメッセージ部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)

優秀賞 1 賞状・副賞(楯)

優良賞 2 賞状

全国総文祭推薦は、オーディオピクチャーの代表以外の上位 2 校とする

(4)ラジオキャンペーン・テレビキャンペーン部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...東北大会推薦

優秀賞 2 賞状・副賞(楯)...東北大会推薦

優良賞 3 賞状...東北大会推薦

いずれの部門も、エントリー数によって表彰数を変更することがある。

10. 各種規定

制作・審査規定、各種様式等は、別に定める。これらは放送専門部のウェブサイトからダウンロードして用いること。

11. エントリー手続き・提出物

別表の一覧のとおりとする。エントリー後の変更は認めない。

12. その他

(1)この大会のために集められた個人情報(所属学校名、氏名、学年、性別、入賞者の成績)については、大会の実施、主催者に関連する記録物(印刷媒体、ウェブサイト、放送等)、大会成績の報道機関への提供以外には使用しない。

(2)使用著作物については、著作権隣接権を含め、権利者の許諾を得るとともに、制作者の責任において権利関係を適切に処理すること。

(3)応募された番組などは、放送等で公開されることがある。制作にあたっては、番組に登場する著作物の著作者や出演者、協力していただいた方々などから、公開の承諾を得ておくこと。

別表 手続一覧

	内容・方法	締切
エントリー 手続き	<p>参加申込書...放送専門部のウェブサイトからダウンロードし、メール添付で事務局に送付すること。</p> <p>http://www2.iwate-ed.jp/housou/</p> <p>送付先: sugimoto-kiyofusa@mo1-h.iwate-ed.jp</p> <p>参加料...各部門とも1名(1本)につき、1,000円。次の口座に学校名で振込む。</p> <p>岩手(いわて)銀行 上田(うへだ)支店 普通 2023372</p> <p>岩手県高等学校文化連盟放送専門部</p> <p>専門部長 上原耕太郎(かんばらこうたろう)</p> <p>振込手数料は各校負担、参加料の領収書は銀行発行のものとする。</p>	10月23日(金) 17:00 必着
提出物	<p>アナウンス部門・朗読部門...原稿3部</p> <p>オーディオピクチャー部門...MD1本, CD-ROM 1枚, 台本3部</p> <p>ビデオメッセージ部門...miniDVテープ1本・台本3部</p> <p>ラジオキャンペーン部門...MD1本, 台本3部</p> <p>テレビキャンペーン部門...miniDVテープ1本・台本3部</p> <p>原稿・台本等の各種様式は、制作・審査規定を参照し、放送専門部のウェブサイトからダウンロードして用いること。</p> <p>バックアップテープは、当日、代表生徒が持つこと。</p>	11月13日(金) 会場に持参

理事ならびに引率顧問の皆様には、運営と審査を分担していただきます。

運営・審査をお願いする皆様には、当日の昼食を準備いたします。

実施要項(運営と審査の分担、運営マニュアル、日程の詳細等)は、エントリー確定後に参加校にメールで連絡いたします。

大会事務局

〒020-8515(住所記載不要)岩手県盛岡市上田 3-2-1

岩手県立盛岡第一高等学校 杉本聖房

sugimoto-kiyofusa@mo1-h.iwate-ed.jp

電話 019-623-4491 fax. 019-654-4227

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

第 27 回岩手県高等学校放送新人大会 制作・審査規定

(9/11 の東北理事会によって変更箇所が生じる場合があります)

1. アナウンス部門

(1)内容 次のア、イのいずれかの規定による。

ア 第 57 回 NHK 杯全国高校放送コンテストの規定：
自校の校内放送に使用するものとし、原稿を生徒
が自作したものに限る。

イ 第 34 回全国高等学校総合文化祭(宮崎大会)の
規定：郷土の話題を全国の高校生に伝える内容の
自作原稿。なお、新人大会と東北大会では、静止
画は使用できない。

(2)規定時間 エントリー番号(エントリー確定後に参
加校に連絡する実施要項による)と氏名(学校名を読
まない)を読むこととし、それらを含め、1 分 10 秒
以上 1 分 30 秒以内。

(3)原稿様式 次のア・イにより作成する。

ア 表紙は様式 1-1、2 ページは様式 1-2、3 ページ
以降は様式 1-3 による。

イ 原稿の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし、仕
上り A5 縦判・右 2 カ所留めで、3 部作成する。

(4)審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点
する。

ア 内容

- (a)素材の選び方は適当であるか
- (b)文章表現は適当であるか

イ アナウンスの技術

- (a)自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンス
されているか
 - ・発声・発音・マイクの使い方
- (b)正しく伝える抑揚表現ができていないか
 - ・内容把握・イントネーション・プロミネンス・
アクセント
- (c)間(ポーズ)は適切か
 - ・テンポ・ポーズ

(5)予選

ア 出場者は A・B の 2 会場に分かれて、エントリー
番号順に発表を行う。

イ 各会場から 6 名ずつ 計 12 名を決勝に推薦する。

2. 朗読部門

(1)内容 次のア、イのいずれかの規定による。いずれ
の場合も作品の改変は認めない。

ア 第 57 回 NHK 杯全国高校放送コンテストの指定作
品の中から 1 編を選び、自己の表現したい部分を
抽出して朗読する。

「小僧の神様・城の崎にて」志賀直哉(新潮文
庫、収録作品のいずれも可、原稿には短編名を
記載し、発表時に述べること)

「美の呪力」岡本太郎(新潮文庫)

「永遠の出口」森絵都(集英社文庫)

「赤毛のアン」モンゴメリ著、村岡花子訳(新
潮文庫、指定された訳者のみ)

「枕草子」清少納言(現代語訳不可、出版社不
問)

イ 第 34 回全国高等学校総合文化祭の規定：郷土
にゆかりのある作家または作品。なお、新人大会
と東北大会では、BGM は使用できない。

(2)規定時間 エントリー番号(エントリー確定後に参
加校に連絡する実施要項による)、氏名(学校名を読
まない)、著者名(訳者名は読まない)、書名(ア は
短編名)を読むこととし、それらを含め、1 分 30 秒
以上 2 分 00 秒以内。

(3)原稿様式 次のア・イにより作成する。

ア 表紙は様式 1-1、2 ページは様式 1-2、3 ページ
以降は様式 1-3 による。

イ 原稿の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし、仕
上り A5 縦判・右 2 カ所留めで、3 部作成する。

(4)審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点
する。

ア 内容

- (a)作品の選定は適当であるか
- (b)朗読として適切な部分を抽出しているか

イ 朗読の技術

- (a)内容表現上、声の出し方や言葉の運びが自然で
適切か
 - ・発声・発音・マイクの使い方

(b)正しく伝える抑揚表現ができていないか
・内容把握・イントネーション・プロミネンス・
アクセント

(c)間(ポーズ)は適切か
・テンポ・ポーズ

(5)予選

ア 出場者は A・B の 2 会場に分かれて、エントリー
番号順に発表を行う。
イ 各会場から 6 名ずつ、計 12 名を決勝に推薦する。

3. オーディオピクチャー部門

(1)内容 郷土に関する話題を全国の高校生に伝える内
容。MD によるステレオ音声と JPEG 形式のデジタル
静止画像を併用する作品とする。ドキュメンタリー、
ドラマ等の手法は問わない。

(2)規定時間 5 分以内

(3)音声制作様式 次のア～ケにより制作する。

ア MD に標準モードで録音する(LP モード不可、
Hi-MD 不可)。バックアップ用として同じ内容を録
音したカセットテープを持参すること。

イ MD とケースには、エントリー番号(エントリー確
定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校
名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ 再生は、標準速度、ステレオで行う。

エ ドルビー等のノイズリダクションの使用は認め
ない。

オ 本編の最後に「制作は 高等学校(放送部・委
員会)でした」のクレジットコールを入れる。

カ クレジットコールを含め、1 つのトラックにま
とめる。なお、クレジットコールには BGM や効果
音をつけないこと。

キ 計時は本編の最初の音から、終わりのクレジ
ットコールの「制作は 高等学校(放送部・委員会)
でした」の「た」の音までとする。

ク バックアップ用のカセットテープには、MD と同
じ内容を、A 面の最初から録音する。リーダーテー
プにかからないよう留意のこと。

(4)静止画制作様式 次のア～オにより制作する。

ア CD-ROM に使用順の数字を付した JPEG ファイル
を納める(例: 001.jpg 002.jpg …)。

イ CD-ROM とケースには、エントリー番号(当日確
認)、学校名とタイトルを、専用のペン等で直接手
書きで記載すること(様式自由、シール貼付不可)。

ウ 静止画像は 50 画像以内、総容量 100MB 以内、サ
イズは XGA(1024×768 ピクセル)での投影とする。

エ 静止画はパソコンからビデオプロジェクタ 1 台
で投影する。パソコンの操作は、発表校が行う。

オ 静止画の投影方法は次のとおり。

使用ソフト: Windows Picture and FAX Viewer

動作 OS: WindowsXP

使用方法

- ・ CD-ROM のフォルダを開く
- ・ 1 枚目の画像を右クリック 「プログラムから
開く」 「Windows Picture and FAX Viewer」
- ・ 1 枚目の画像表示後「F11」キーを押す
- ・ 画面右上の「一時停止」マークを押す
- ・ カーソルを画面外に動かして表示されないよう
にする
- ・ 「 」または「Enter」キーで次の画像に切り替
える
- ・ 終了時には「Esc」キーを押す
- ・ WindowsXP/Vista 以外の OS の場合は Susie によ
ること(www.digitalpad.co.jp/takechin/)

(5)台本様式 次のア～オにより作成する。

ア タイトルの文字は、JIS コードの範囲内の全角
15 文字相当以内とする。

イ 表紙は様式 3-1、2 ページは様式 3-2、本文は様
式 3-3 による。

ウ d 最終ページは様式 4 により、使用著作物一覧
を記入する。

エ 末尾に、音源使用許諾書、JASRAC の明細書、そ
の他使用したすべての著作物について、使用の許
諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ 台本の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし、仕
上り A5 縦判・右 2 カ所留めで、3 部作成する。

(6) 審査の視点 次のア, イに留意して, 総合的に採点する。

ア テーマ

- ・学校をとりまく素材の中から適切なものを求め番組内容にテーマを効果的に表現しているか
- ・ラジオと静止画の特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

- (a) 制作の手法
- (b) 取材の方法や努力
- (c) 企画構成
- (d) 演出・編集
- (e) 技術
 - ・録音・撮影の技術
 - ・アナウンスやナレーションの技術
 - ・音楽や効果音の使い方など

4. ビデオメッセージ部門

(1) 内容 郷土に関する話題を全国の高校生に伝える内容。

(2) 規定時間 5分以内

(3) 制作様式 次のア～カにより制作する。

ア miniDV 民生用, 標準速度, 音声は 16bit stereo または 12bit stereo 1, NTSC の 4:3 に限る(ハイビジョン不可)で録画した 1 本を提出する。テープの最初から録画すること。バックアップ用として同じ内容を録画した miniDV テープを持参すること。

イ テープとケースには, エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ 再生は, 標準速度, ステレオで行う。

エ ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ 本編の前後に 10 秒間ずつ, 様式 5 のテストパターンを入れる。テストパターンは無音とする。

カ 計時は初めのテストパターンの終了時から, 終わりのテストパターンの最初までとする。

(4) 台本様式 次のア～オにより作成する。

ア タイトルの文字は, JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ 表紙は様式 3-1, 2 ページは様式 3-2, 本文は様式 3-3 による。

ウ 最終ページは様式 4 により, 使用著作物一覧を記入する。

エ 末尾に, 音源使用許諾書, JASRAC の明細書, その他使用したすべての著作物について, 使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ 台本の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし, 仕上り A5 縦判・右 2 カ所留めで, 3 部作成する。

(5) 審査の視点 次のア, イに留意して, 総合的に採点する。

ア テーマ

- ・学校をとりまく素材の中から適切なものを求め番組内容にテーマを効果的に表現しているか
- ・テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

- (a) 制作の手法
- (b) 取材の方法や努力
- (c) 企画構成
- (d) 演出・編集
- (e) 技術
 - ・撮影・録音の技術
 - ・アナウンスやナレーションの技術
 - ・音楽や効果音の使い方など

5. ラジオキャンペーン部門

(1) 内容 指定するキーワードを題材とした番組。

ア 高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ 内容や構成は自由とするが, 学校生活のみならず, 広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ 番組は, 参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや, 他の作品などからの脚色や改作は認めない。

(2) キーワード 「郷土の PR」

(3) 規定時間 25 秒以上 30 秒以内

(4)制作様式 次のア～ケにより制作する。

ア MD に標準モードで録音する(LP モード不可, Hi-MD 不可)。バックアップ用として同じ内容を録音したカセットテープを持参すること。

イ MD とケースには, エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ 再生は, 標準速度, ステレオで行う。

エ ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ 最初に「ラジオキャンペーン部門」「作品名」の順でクレジットコールを入れたのち, 3 秒後に本編を開始する。

カ 本編の最後の音から 3 秒後に「制作は 高等学校(放送部・委員会)でした」のクレジットコールを入れる。

キ 前後のクレジットコールを含め, 1 つのトラックにまとめる。なお, クレジットコールには BGM や効果音をつけないこと。

ク 計時は本編の最初の音から, 終わりのクレジットコールの「制作は 高等学校(放送部・委員会)でした」の「せ」の音までとし, その計測値から 3 秒を差し引いた値をもって再生時間とみなす。

ケ バックアップ用のカセットテープには, MD と同じ内容を, A 面の最初から録音する。リーダーテープにかからないよう留意のこと。

(5)台本様式 次のア～オにより作成する。

ア タイトルの文字は, JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ 表紙は様式 2-1, 2 ページは様式 2-2, 本文は様式 2-3 による。

ウ 最終ページは様式 4 により, 使用著作物一覧を記入する。

エ 末尾に, 音源使用許諾書, JASRAC の明細書, その他使用したすべての著作物について, 使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ 台本の大きさは A4 横を二つ折り・袋とし, 仕上り A5 縦判・右 2 力所留めで, 3 部作成する。

(6)審査の視点 次のア, イに留意して, 総合的に採点する。

ア テーマ

・指定のキーワードを理解し, 番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・ラジオの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

・録音の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

6. テレビキャンペーン部門

(1)内容 指定するキーワードを題材とした番組。

ア 高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ 内容や構成は自由とするが, 学校生活のみならず, 広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ 番組は, 参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや, 他の作品などからの脚色や改作は認めない。

(2)キーワード 「郷土の PR」

(3)規定時間 25 秒以上 30 秒以内

(4)制作様式 次のア～カにより制作する。

ア miniDV 民生用, 標準速度, 音声は 16bit stereo または 12bit stereo 1, NTSC の 4:3 に限る(ハイビジョン不可)で録画した 1 本を提出する。テープの最初から録画すること。バックアップ用として同じ内容を録画した miniDV テープを持参すること。

イ テープとケースには, エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校名・タイトルを記載すること(様式自由)。

ウ 再生は, 標準速度, ステレオで行う。

エ ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ 本編の前後に 10 秒間ずつ、様式 5 のテストパターンを入れる。テストパターンは無音とする。

カ 計時は初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの最初までとする。

(5)台本様式 次のア～オにより作成する。

ア タイトルの文字は、JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ 表紙は様式 3-1、2 ページは様式 3-2、本文は様式 3-3 による。

ウ 最終ページは様式 4 により、使用著作物一覧を記入する。

エ 末尾に、音源使用許諾書、JASRAC の明細書、その他使用したすべての著作物について、使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ 台本の大きさは A4 横を二つ折り・袋とし、仕上り A5 縦判・右 2 カ所留めで、3 部作成する。

(6)審査の視点 次のア、イに留意して、総合的に採点する。

ア テーマ

- ・指定のキーワードを理解し、番組内容にテーマを効果的に表現しているか
- ・テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

- (a)制作の手法
- (b)取材の方法や努力
- (c)企画構成
- (d)演出・編集
- (e)技術

- ・撮影や録音の技術
- ・アナウンスやナレーションの技術
- ・音楽や効果音の使い方など

7. 審査員(全部門共通)

専門職審査員と教育職審査員の 5 名以上で行う。

8. 採点・講評(全部門共通)

(1)部門の「審査の視点」に基づき、100 点法、1 点刻みで総合的に採点する。

(2)採点のめやすは次のとおりとする。

20 30 40 50 60 70 80 90 100

悪い 普通 良い 大変良い

(3)各審査員は、得点一覧を、会場ごとに定める審査主査に提出する。

(4)各審査員は、すべての発表ごとに、講評を記載する。

9. 得点集計および順位(全部門共通)

(1)得点集計と順位

審査員の最高点と最低点を除いた合計点の高い順に順位を決定する。

(2)順位決定の特例

合計点が同じ場合は、カットされた得点の高い方を上位とする。

(3)審査会

最終的な順位決定は、部門ごとの審査員による審査会で行う。ただし、アナウンス部門と朗読部門の予選については、審査主査に一任する。

10. アナウンス部門・朗読部門決勝

(1)決勝進出者は 11 月 13 日(金)の午後に中ホールで発表する。

(2)決勝のエントリー順は、無作為に指定する。

(3)決勝審査では、予選の得点を参考にしない。

11. 規定違反(全部門共通)

(1)規定違反は審査の対象としない。なお、重大な違反が判明した場合は、大会後においても賞を取り消すことがある。

(2)計時の許容範囲は、アナウンス部門と朗読部門は ± 2 秒、番組 4 部門は ± 1 秒とする。

(3)アナウンス部門と朗読部門の決勝の規定時間違反に限り、失格とせず決勝進出のうちの最下位とする。

12. 講評・審査結果一覧(全部門共通)

(1)講評用紙は、大会後に各校に配布する。

(2)MD・テープ等は、大会後に該当校に返却する。

(3)審査結果一覧は、大会後に顧問に配布する。

協議 6 セミナーサポート事業 アナウンス朗読講習会 開催要項

12月下旬 盛岡一高 東北大会アナ朗代表対象

実施要項は、関係各校に、新人大会後に別途お送りします。

協議 7 校内放送指導者講座等への顧問教員の派遣

校内放送指導者講座(全放連主催)

12月27日(日)～28日(月) 千代田放送会館(東京)

顧問対象の研修会，1～2名程度を派遣します。

協議 8 その他

連絡1 部員数調査のまとめ(別紙)

連絡2 審査基準見直しの検証

2005NHK杯県大会アナ朗 予選無し・審査員各3名・順位点 ・東北アナ朗...入賞2/11(18%、アナ入賞0、朗読2位1・5位1) ・全国大会...入賞4/12(33%、アナ3位1、朗読2位1・11位2)	2005新人大会アナ朗 予選無し・審査員各3名・順位点 ・東北大会...入賞6/24(25%、アナ7位2、朗読2位1・4位1・11位2) ・2006総文祭...入賞0/6(00%、アナ入賞0、朗読入賞0)
2006NHK杯県大会アナ朗 予選無し・審査員各3名・順位点 ・東北アナ朗...入賞4/11(36%、アナ2位1、朗読2位1・5位2) ・全国大会...入賞6/12(50%、アナ1位1・11位3、朗読11位2)	2006新人大会アナ朗 予選無し・審査員各3名・順位点 ・東北大会...入賞5/24(21%、アナ2位1・4位1・11位2、朗読4位1) ・2007総文祭...入賞1/6(17%、アナ1位1、朗読入賞0)
2007NHK杯県大会アナ朗 予選無し・審査員各3名・順位点 ・東北アナ朗...入賞5/8(63%、アナ2位1・5位2、朗読2位1・5位1) ・全国大会...入賞5/12(42%、アナ3位1・11位1、朗読11位3)	2007新人大会アナ朗 予選無し・審査員各3名・順位点 ・東北大会...入賞5/24(21%、アナ7位1・11位1、朗読4位1・11位2) ・2008総文祭...入賞1/6(17%、アナ入賞0、朗読11位1)
2008NHK杯県大会アナ朗 予選無し・審査員各4名・順位点 ・東北アナ朗...入賞4/11(36%、アナ5位2、朗読2位1・5位1) ・全国大会...入賞4/12(33%、アナ11位2、朗読5位1・11位1)	2008新人大会アナ朗 予選あり・審査員予選各5名・決勝各6名・上下カット合計点 ・東北大会...入賞4/24(17%、アナ4位1・7位1、朗読11位2) ・2008総文祭...入賞0/6(00%、アナ入賞0、朗読入賞0)
2009NHK杯県大会アナ朗 予選あり・審査員予選各4名・決勝各6名・上下カット合計点 ・東北アナ朗...入賞5/12(42%、アナ5位3、朗読2位1・5位1) ・全国大会...入賞7/12(58%、アナ11位3、朗読5位1・11位3)	

平成20年度新人大会以降の審査基準変更のまとめ(別紙資料, 回収)

- ・アナ朗予選の実施...段階的な審査によってより発表に集中できるようになり, 集計方法にかかわらず同じような結果が出るようになった。
- ・順位点から上下カット合計点への変更...極端な得点を除き, 多くの審査員が評価する発表が上位になった。
- ・審査員の増員...審査員個人の心理的負担が軽減された。
- ・アナ朗では県大会と全国大会での順位が概ね一致し, NHK杯での入賞数が増加した。

連絡3 平成21年度後半の事業日程

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
9	11	金	東北地区高等学校文化連盟放送部理事会	ジョイナス(秋田)	東北高文連
9	27	日	セミナーサポート事業 放送講習会	盛岡第一高校	放送専門部
10	2	金	第32回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	宮古市民文化会館	県高文連 (宮古支部主管)
10	8	木	セミナーサポート事業 メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
11	9	月	第6回交通安全テレビCMコンテスト	盛岡グランドホテル	後援事業 岩手県・TVI
11	13	金	第32回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第27回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
			盛岡支部番組講習会		盛岡支部放送専門部
12	下旬		セミナーサポート事業 アナウンス朗読講習会	盛岡第一高校	放送専門部
12	27 28	日 月	校内放送指導者講座	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
2	5 6	金 土	第13回東北高等学校放送コンテスト	秋田県民会館・ ジョイナス	東北高文連
2	中旬		第3回理事会	盛岡第一高校	放送専門部
2	下旬		会計監査, 盛岡市立高校へ引継ぎ	盛岡第一高校	放送専門部
3	下旬		第57回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK

連絡4 高文連表彰について

次のとおり県高文連に推薦しました。表彰は、県高総文祭総合開会式(10月2日(金), 宮古市民文化会館)に先だっておこなわれます。

連盟賞(生徒表彰)...平成20年9月1日~平成21年8月31日に全国大会(総文祭・NHK杯など)で優良賞(3位)以内に入賞した個人及び部(団体)。

- ・小笠原舞子(盛岡第一2年)...NHK杯朗読部門優良賞

功労賞(教職員表彰)...平成20年度末に退職した教職員で、専門部長・常任理事(専門部事務局長等)経験者、指導者として全国大会優良賞(3位)以内に入賞したもの、指導者として全国大会に10回以上出品・出演させたもの。

- ・遠藤洋一先生(盛岡第一)...平成20年度放送専門部長
- ・渡邊憲二先生(盛岡第三)...平成20年度NHK杯朗読部門優良賞ほか
- ・岩本秀司先生(盛岡南)...平成12年度放送専門部事務局長

連絡5 平成22年度以降の事業日程(予定)

(1) 平成22年度の予定(確定)

月	日	曜	事業名 (太字は生徒参加の事業)	会場	主催者 (太字は主催)
4	中旬		理事総会・第1回理事会	盛岡市立高校	放送専門部
6	8	火	第33回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第57回NHK杯全国高校放送コンテスト岩手県大会	県民会館	放送専門部・NHK
6	28 29	月 火	第10回東北地区高等学校アナウンス朗読コンテスト	細野地区活性化センター	東北高文連 主管事業
7	中旬		アナウンス朗読講習会	NHK盛岡放送局	放送専門部
7	21 24	水 土	第57回NHK杯全国高校放送コンテスト	NHKホール他(東京)	全放連・NHK
7	24	土	Nコン番組制作セミナー	NHKふれあいホール(東京)	全放連・NHK
8	3	火	全国高文連放送部会	清武町文化会館(宮崎)	全国高文連
8	4 5	水 木	第34回全国高等学校総合文化祭(宮崎大会)放送部門	清武町文化会館(宮崎)	全国高文連
9	上旬		第2回理事会	盛岡市立高校	放送専門部
9	下旬		放送講習会		放送専門部
9	下旬		東北地区高等学校文化連盟放送部会理事会	(福島県)	東北高文連
10	1	金	第33回岩手県高等学校総合文化祭総合開会式	二戸市民文化会館	県高文連 (二戸支部主管)
10	13	水	メディアコミュニケーションセミナー	県民会館他	放送専門部
11	9	火	第33回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼 第28回岩手県高等学校放送新人大会	県民会館	放送専門部
12	下旬		アナウンス朗読講習会		放送専門部
12	下旬		校内放送指導者講座	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK
2	上旬		第14回東北高等学校放送コンテスト	(福島県)	東北高文連
2	中旬		第3回理事会・会計監査	盛岡市立高校	放送専門部
3	下旬		第58回NHK杯全国高校放送コンテスト担当者会議	千代田放送会館(東京)	全放連・NHK

(2) 日程の原則と平成23年度県民会館予約の予定

ア NHK杯県大会(県民会館)

原則: 6月第2週の月曜(準備)・火曜(大会)...高総体後・考査前

候補日: 平成23年6月7日(火)

イ メディアコミュニケーションセミナー(県民会館)

原則: 10月第2火曜(準備)・水曜(行事)(体育の日の翌日・翌々日)...高総文祭開会式後

候補日: 平成23年10月12日(水)

ウ 新人大会(県民会館)

原則: 11月第2週の月曜(準備)・火曜(大会)...運動部の新人大会後・考査前

候補日: 平成23年11月8日(火)

連絡6 平成22年度以降の上位大会

(1) 確定している日程等

ア NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会決勝の日

平成22年7/24(土) 平成23年7/28(木) 平成24年7/26(木) 平成25年7/25(木)

イ 全国高等学校総合文化祭開催県

平成22年宮崎県 平成23年福島県 平成24年富山県 平成25年長崎県 平成26年茨城県

ウ 東北高等学校放送コンテスト開催県

平成22年度福島県 平成23年度青森県 平成24年度岩手県 平成25年度宮城県 平成26年度山形県

秋田から時計回りを原則とする。21年度からの3回目めのローテーションでは、23年度の全国総文祭に備えて22年度に福島県を入れ、他をずらす。

(2) 平成22年度NHK杯の朗読指定作品 http://www.nhkk.or.jp/ncon/ncon_h/

1) 「小僧の神様・城の崎にて」志賀直哉(新潮文庫, 収録作品のいずれも可)

2) 「美の呪力」岡本太郎(新潮文庫)

3) 「永遠の出口」森絵都(集英社文庫)

4) 「赤毛のアン」モンゴメリ著, 村岡花子訳(新潮文庫, 指定された訳者のみ)

5) 「枕草子」清少納言(現代語訳不可, 出版社不問)

* 朗読のはじめに, 番号, 氏名, 著者名(訳者名は読まない), 書名を読む

(3) NHK杯のメディア変更...平成22年度から

・ラジオドキュメント部門・創作ラジオドラマ部門...CD-DA形式(オーディオCD)

・テレビドキュメント部門・創作テレビドラマ部門...DVD-video形式

(4) 全国総文祭放送部門の表彰

・早ければ平成23年から, 文部科学大臣賞・文化庁長官賞を, 都道府県単位で出す方向。都道府県ごとの成績集計方法については, 平成22年度の検討課題とする。

(5) 全国総文祭放送部門の部門

・従来の部門を変更しない(アナウンス3・朗読3・AP1・VM2)。

・平成24年の富山大会では, この回独自の部門として, CM部門(30秒, うち10秒以上を富山で取材して現地で完成させる)を設ける予定。

(6) 全国総文祭放送部門のメディアの変更

・早ければ平成23年から, NHK杯と同様, CD-DAとDVD-video形式を加える(現行はMDとminiDV)。

(7) 平成22年度~24年度全国総文祭放送部門の要項(別紙)

連絡7 役員選出に関する細則 別表の検討

役員選出に関する細則(29ページ)の附則2により, 別表1(役員案作成に関する事項)と, 別表2(事務局の輪番に関する事項)を, 第3回理事会(事務局が交代する直前の理事会)で検討します。

連絡8 その他

盛岡支部放送専門部主催の事業として, 冬に, 東北大会テレビキャンペーン・ラジオキャンペーン代表などを対象に, 番組講習会を開催する予定です。

資料 平成 21 年度大会結果

(省略 放送専門部のサイトを参照ください)

資料 岩手県高等学校文化連盟放送専門部規約

(省略 第 1 回理事会資料を参照ください)

別紙 平成 22 年度以降の全国総文祭放送部門要項案

(省略 当日配布)

別紙 部員数調査のまとめ

(省略 当日配布)

別紙 審査集計検討資料

(省略 当日配布, 回収)